

観劇は感激だ

(何このしょうもないじゃれ)

かなり勝手に観劇記 2019年上半期版、的なもの



初日の出を拝んでから、早いものでもう半年が経過しました。半年間ながら、結構いろんなことがあった。いろんな出会いがあった。キリの良さそうなところでいったん、まとめというか、振り返りというかそんなものを。

今年四月に仕事場が変わり、慣れない環境で少しずつ慣れながら日々試行錯誤している。それはそれで楽しいと思えるように最近になってきた。芝居の方は順調というか、あちらこちらに知り合いが増えて手伝いに行ったりと割と忙しい日々を送っている。

そんな中、この半年間で観た舞台は35本。二度三度と行ってるところもあり、劇場としては30カ所回ったことになります。単純計算で年70本ペース。これを多いと見るか少ないと見るかは難しいけど、世間一般から見ると結構観てる方なんだろう。その意味では、演劇界にはまあそこそこ貢献しているのかしら。今年は、Twitterがらみの案件が多くなった。昨年の十二月あたりからフォロワーさん増えてきたからでして、そこでつながった方の舞台には足を運ぶよう努めてきた、つもり。

で、七月を迎える頃にはフォロワーさんおかげさまで1000人を超えた。どうしたらフォロワーさん増えるのか？て考えてる人もいるのだと思う。とりあえず、「いいね」を押したりこちらからフォローしたり、マメに返信をするのをやってたらそれなりに増えてはくるのかな、と思う。むらかみも、はじめは「いいね」を一個もらうたんびにフォローしたり、返信をしていました。今、そんなにやりきれないところもあるけど。まあとにかく、フォロワーさん少ないなと思ううちは、こちらからアクションした方がいいですよ。単純にフォロワー数増やすことが目的かどうかはまた別問題ですけど。楽しみ方は人それぞれ。

演劇というメディアはね、幸か不幸か、やはり「リアルタイムで劇場を訪れる」ということをやらないといけないので、それも同時に心がけてきた。多少遠くても、フォロワーさんから誘われれば家から遠いところにも足を運んできました。極めつけは仙台ですかね、勢いですけど。行ってみたらそこで新たな出会いがあり、仙台はまた行きたい街の一つになった。行ってみなければこうはならない。その時の決断に今まじめに感謝している。

よく知ってる劇場にも行ったけど、まだまだ知らないところがあるんだということもこの半年間で知りました。これからも勉強は続けて行きたいし、誘われたらいろんなところに出向きたいと思っている。小さなカフェスペース的なところで、ほんとにお客さん少ないけどすぐ近くで芝居をするというケースも増えているようで、そんなものも含めると劇場的には網羅は難しいかな、と思いつつ。

これは全くの個人的な感想だけど、そういう小さなところで道具もあまりなくこじんまりとやっている芝居と、そこそこキャパのあるところで、多人数で割と切れ目なく動いて歌ってとエンターテインメント姓の高い舞台と、何となく二極化みたいなものをちょっと感じた。どっちがどうとは言えないけど。

その中でも、今年観た中でいうと、劇団仲間さんの定番中の定番『森は生きている』は、昔ながらの、だからアナログ的なものを残しながらも、そういう流行みたいなのとはある種一線を画した老舗の意地というか底力というかそういう凄味を感じて感動した。

あと、個人的な好みでいうと、『ビューティフルランナー』とか『爆裂アンチテーゼ』かな。と、そこは三本ざっくりと挙げておきます。

自身の演劇的活動ということに関しても、新たな展開があった。筆頭は**メルシーク神楽坂**ですかね。幸か不幸か、まだ人手の十分でない劇場立ち上げというタイミングでこちらのお手伝いに加わることができて、今、イベントの度に誘いを受けたりするようになってお手伝いに行っている。月イチくらいのペースで何かするので、毎回欠かさず、という訳にいかないこともあるんですけど、ここの劇場の街と共にやってくというスタイルは共感できるので、むらかみにやれるだけのことはしていきたい。

劇団一の会の坂口候一氏は、大昔にちょっと縁のあった方で、今は江古田にスタジオを構えている。たまたま再会して、たまたまお手伝いに行って、今後もよろしく的な話になった。ここで演じられる坂口氏ははじめとする声優さんたちの語りには「さすが」と思わせるものが多々ありまして、テンポ良く歌って踊って的舞台とはまた違ったセリフの力を感じさせてくれる。手作りのスタジオのたたずまいも好きだし、今後も関わっていけたら良いなと思っています。

小林志郎氏は、これまで「演劇教育研究ゼミ」という堅苦しいタイトルの研究会的なものを主宰していたが、今年は「鶴屋の会」と号して歌舞伎のリーディング公演にチャレンジ。今、そのスタッフに名を連ねている。これはとりあえず九月に終わるもので今後の展開は未定であるけど。

8月は毎年、中学生を対象としたワークショップ（ぷち×2）に二回ほど講師で行っているの、その準備もあり、9月しょっぱな（1日）の歌舞伎があり、メルシークの手伝いもありと結構土日なんか面白いように埋まりつつある、という状態。合間を縫って、フォロワーさんの舞台を観に行くとか、観光とか、いろんなところに足を運びたいものです。またちょっと遠出もできたらいいかな。とりあえず那須行きたい。

昨年立ち上げたドラマ＝リーディング（ぷち×2ドラマ＝リーディング）も、軌道に乗ったというのかどうか、月イチで参加者の増減を繰り返しながら何とか存続している。これを母体としてかまた新たに、とにかく上演というか発表会的なものを近くやりたいと思っている。先の予定とかもろもろ検討して、今冬と時期だけはもう自分の中では決めている。具体的なプランはまだけど、とりあえず自作を一本は形に、というのとあとどうしましょ。九月の歌舞伎が終わったら本格的に始動するつもりで、今、参加者を募ってます。興味が湧いたら気軽にお問い合わせください。

忙しいは忙しいけど、昨年よりもいろんな形で舞台に関わるようになってそこは今やり甲斐を感じている。もう年寄りの部類に入るんですけど、自分のできること、最大限にやっていきたい。

ここに至るまで、いろんな出会いがあった。メルシーク神楽坂の関口社長、小峯さん、長野さん、みるきいさん。劇団一の会の坂口候一氏。アクターズ仙台の中澤さん藤川さん。あとは1200人くらいに増えたフォロワーの皆さん等々。いろんな人に支えてもらって今の自分がある、と思う。そして昔からの馴染みの方々。いろいろな方の役に立てたらよい、舞台に貢献できたらよい、そんな思いで「演劇よろずお助け処・むらかみ劇場2」これからも手広く舞台のために頑張っていきたいと思います

舞台の手伝い、公演へのお誘い、うちのリーディングやら発表やらの参加、いろいろ待ってます。どうぞよろしくお願いいたします。